



2026年10月15日

各 位

会社名 株式会社MS & C o n s u l t i n g
代表者名 代表取締役社長 辻 秀敏
(コード番号：6555 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役経営管理本部長 並木 昭憲
(E-mail ir@msandc.co.jp)

2027 年 2 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2026 年 4 月 10 日に公表いたしました 2027 年 2 月期第 2 四半期累計期間 (2026 年 3 月 1 日～2026 年 8 月 31 日) の連結業績予想数値と、本日公表の実績数値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2027 年 2 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値と実績数値との差異 (2026 年 3 月 1 日～2026 年 8 月 31 日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的 1 株当 たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,259	80	79	53	53	11.67
実績数値 (B)	1,307	150	150	99	97	21.46
増減額 (B) - (A)	47	70	71	45	44	-
増減率 (%)	3.8	87.0	90.0	85.1	84.1	-
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2026 年 2 月期第 2 四半期)	1,243	69	68	52	52	12.48

2. 差異の理由

売上収益につきましては、基幹サービスである顧客満足度覆面調査「ミステリーショッピングリサーチ (以下、MSR という。)」を含む C X 領域が、第 1 四半期に前期実施した大型スポット契約終了の影響を受けたものの、第 2 四半期は前年同期を上回り、上半期ではほぼ前年同期並みまで回復しました。また、コンサルティング (以下、「コンサル」という。) 領域では補助金・助成金コンサル等が伸長したことから、売上収益は前回公表予想を上回る結果となりました。

利益面においては、成長戦略に掲げる C X G r i d による MSR 利益率の向上、コンサルの売上収益拡大、A I 活用等による生産性向上策が奏功しました。加えて、収益性改善の取り組みの定着により、売上収益に占める原価率が前上半期比 5.5 ポイント、販管費率が 1.6 ポイント低減したことから、営業利益以降の各段階利益につきましても、前回公表予想を上回る結果となりました。

3. 通期連結業績予想について

通期業績においては、上半期実績は前回公表予想を上回っており、通期業績予想の達成に向け順調に進捗しております。一方、下半期における案件の積み上げ及び収益性改善施策の進捗等を見極める必要があることから、2026年4月10日に公表いたしました通期連結業績予想は据え置きとさせていただきます。今後業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上